

時代背景に着目し、読む力を育む国語科学習の工夫

－ LibraryNAVI づくりを通して－

1. 設定理由

生徒たちは文学作品を読むときに、構成や登場人物の描写、表現の特徴、人称の選択など様々な読み方を通して文学を楽しんでいる。しかし、読む観点は多岐に渡っているとは言えず、多面的な読みにつながらないことも多い。文学作品によっては読む上でその作品に描かれている時代背景を表すキーワードに注目すると、違った読み方で作品の魅力を感じることができる。特に近代文学などでは、時代背景を表す言葉も多く、時代について考えることができ、多面的な読みにつながる作品は多い。

本研究では、時代背景を表す言葉に注目して文学を読むことで、文学を今までにはない読み方で、多面的に読み進めると共に、新たな文学作品の魅力に気づき、深く文学作品を味わうことができると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

文学を時代背景を表すキーワードに注目して読んだり、文学を読んで感じる時代を考えたりすることで文学を多面的に読むことができるようになるだろう。

3. 研究内容

(1) 文学作品を通して、時代背景を意識した読みを行う。

①おとぎ話の『桃太郎』と芥川版『桃太郎』を読み比べることで、芥川版に描かれた時代背景の影響を理解し、文学について新たな観点で読むきっかけとする。

②『オツベルと象』『夏の葬列』という既習の作品を「時代」という観点に注目して読み直すことで、多面的な読みを実践し、作品をより深く読み進めることをめざす。

(2) LibraryNAVI を作成する際、近代文学作品の時代背景を意識した読み方を取り入れるよう指導し、伝えたい情報を整理し、作品の魅力を他者へ発信する。

4. 結論

時代背景を表すキーワードに注目したり、物語全体を通して作品の時代について考えることで、今までになかった観点で文学を読む経験となり、多面的な読みにつながった。しかし、時代背景を意識した良き方を表現ができるように指導ができなかった。

研究主題

時代背景に着目し、読む力を育む国語科学習の工夫

－ LibraryNAVI づくりを通して－

1 主題設定の理由

これから生きていく子どもたちは、今はない職業に就く。そう言われるようになってきた。つまり、これからの子どもたちは新たな考えを生み出していかなければいけない。必要な力として、これまでにない視点で読む力が求められていくのではないかと考えた。学校教育の中でも、新しい視点を求め、新しい力をつけていかなければならないと思っている。

新学習指導要領にも「深い学び」という言葉が明記され、新たな視点での授業改善が求められるようになった。新学習指導要領には、「深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要になること。各教科の「見方・考え方」とは「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科ならではの物事を捉える視点や考え方である」と明記されている。これまでにない「見方・考え方」での読み方を「多面的な読み」と定義し、研究を進めた。

国語科の文学作品の読解では、構成や登場人物の描写、表現の特徴、人称の選択など様々な読み方がある。国語科の授業においても、これらの読みをすることが多い。実際、私も今までの授業では、登場人物の描写や、表現の特徴、人称の選択について授業することが多かった。これからの求められる、「多面的な読み」として今まで生徒が注目していなかった、新しい観点での読み方が必要と考えた。

生徒の実態としては、本校は2年前から朝読書が毎日設定され、生徒にとって読書活動がより身近になっている。朝読書では、特に文学作品を選んで読む生徒が多い。生徒に調査を行うと、文学を読むことについて、以下のような実態がわかった。

天羽東中学校3年生14人対象（男子8人 女子6人）

1 文学を読むのは好きですか。

好き（10） どちらかといえば好き（1） どちらかといえば嫌い（2） 嫌い（1）

2 文学作品を読むとき、意識する視点はなんですか。

登場人物（9） 表現・言葉（4） 物語の構成・ストーリー（6）
作者（1）

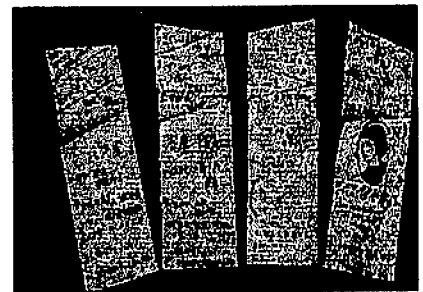
3 文学作品について 読んでいてどんなことを思いますか。

- ・最初の方を読んで、これからどんな物語になるか、楽しみになる。
- ・作者それぞれの表現方法だったり、ちがう見方をされていて面白い。
- ・読者を考えさせるような文もあって面白い。
- ・内容がわかりにくいと、場面が想像しにくい。
- ・読むのが大変。 ・話がよくわからない。

生徒たちは文学作品を読むときに、特に登場人物、表現、物語の構成の観点で読んでいる生徒が多い。これからの文学教育では「多面的な読み」につながるような、いろいろな視点で読むことが求められていく。

今回の研究では、生徒の実態になかった「時代」という観点に注目して読み進めていく。文学にあらわれている「時代」に注目することで、今までとは違った作品の魅力を感じることができるのではないかと考えた。文学作品によっては読む上でその作品に描かれている時代背景を表すキーワードに注目すると、違った読み方で作品の魅力を感じることができる。特に近代文学などでは、時代背景を表す言葉も多く、時代について考えることができ、多面的な読みにつながる作品は多い。近代文学を使って、多面的な読みを実践できると考えた。

単元のゴールとして、近代文学で時代背景に注目した LibraryNAVI を作成する。LibraryNAVI とは、図書館利用者をナビゲートする、手のひらサイズのじゃばら折りのリーフレットである。LibraryNAVI は、本の魅力を共有することを前提に考えられたものであり、作品に「LibraryNAVI」と表記することで、誰でも手軽に文学の内容を共有できる。多くの配布ができるので、他者との文学の交流が広がる。比較的表現物としては自由度も高く、読書の推進をしている図書館で活用されているもののため、視覚的にうったえる表現物としての効果も高い。LibraryNAVI の 1 ページの割り振りが読みの観点としてつながっている。



本学年は、昨年度も LibraryNAVI を作成している。昨年度の観点は、物語の構成・ストーリー、味見読書（引用）、作者についてが中心であった。今回の単元を通し、時代背景という新たな読みの観点を取り入れた LibraryNAVI を作成する。時代背景を表す言葉や、作品に描かれている時代に注目して文学を読み、文学を今までにはない読み方を学んだ後に作成する LibraryNAVI では、昨年度より多面的な文学の読みができると思われる。

本研究では、時代背景を表す言葉に注目して文学を読むことで、文学を今までにはない読み方で、多面的に読み進めると共に、新たな文学の魅力に気づき、深く文学を味わうことができると考え、本主題を設定した。

参照 LibraryNAVI アーカイブ <http://librarynavi.seesaa.net/#>

2 研究仮説

文学を時代背景を表すキーワードに注目して読んだり、文学を読んで感じる時代を考えたりすることで文学を多面的に読むことができるようになるだろう。

3 研究内容

(1) 全体指導計画[10時間展開]

時配		学習活動	指導上の留意点と評価 ○留意点 ※評価
第一 次	昨 年 度	・ LibraryNAVI を作成し、本の魅力について伝える。	○作成法を明確に伝える。 ※本文の引用を交えながら、魅力を伝える作品が作成できたか。
第二 次	1	・ おとぎ話『桃太郎』と芥川版『桃太郎』を読み比べ登場人物の特徴や性格、語り手の立場などをとらえ、2つの作品の共通点と相違点を整理する。	※いろいろな物語に関心を持ち、それぞれの文章の展開などについて、自分の考えをもって読もうとしている。
	2	・ 作品の時代背景を調べ、作品への理解を深める。	※物語を比較して読み、展開や表現の仕方を評価して物語に関心を持ち、近代文学を知るきっかけとすることができたか。
	3	・ 時代について知る前と後で、感じ方が変わったのか、考えを持つ。	※時代について知る前と後で、それぞれ文学に対して自分の考えを持つことができたか。
第三 次	4	・ 『オツベルと象』『夏の葬列』を読み直し、時代背景が表現された描写を探し、意味を考える。	○本文中からキーワードを探し、時代背景を考えるようにさせる。
	5		
	6	・ グループで時代背景が表現された描写について考えを交流する。	○グループを事前に編成し、考えを交流できるようにする。 ※時代について感じる表現を探し、自分の考えを持つことができたか。
第四 次	7		
	8	・ 夏休み中に多読した近代文学について LibraryNAVI を作成し、文学の中に表現された時代について伝える。	○青空文庫や、学校図書館を活用し、本の選定を行う。
	9		○生徒によっては教科書に載っている作品にするなど選書に注意する。
	10		※時代を感じる表現や内容について、自分の言葉でまとめることができたか。

(2) 研究実践

第一次

①紹介したい本で LibraryNAVI を作成し、魅力を伝える。 資料1

〈学習活動と内容〉

- ・今まで読んだ本の中で、魅力を伝えたい本で LibraryNAVI を作成する。
- ・観点の中に「味見読書」という、紹介したい文の引用を入れるようにした。

第二次

①青空文庫を用いて、芥川版『桃太郎』とおとぎ話版『桃太郎』を比べ読みし、共通点、相違点を整理する。 資料2

比べ読みについては、君津支部として千葉県国語研究会において実践を発表してきた。比べ読みを通して、生徒が学習材を絶対化せず、相対化して読むことで、ものの見方や考え方が広まることを研究してきた。全中学校において比べ読みを実践し、研究結果を冊子にまとめてきた。継続的な研究としても、比べ読みを活用し、多面的な読みの一つとした。

比べ読みの観点

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| ・桃太郎の人物像 | ・登場人物の人物像 | ・語り手の立場、視点 |
| ・結末 | ・魅力を感じたこと | ・共通点 |
| | | ・相違点 |

〈学習活動と内容〉

- ・芥川版『桃太郎』とおとぎ話版『桃太郎』をそれぞれ通読し、感想を持つ。
- ・それぞれの作品を読み比べ、観点到ってワークシートで比較する。

〈生徒の様子〉

- ・おとぎ話版『桃太郎』は懐かしそうに読んでいる生徒が多かった。
- ・芥川版『桃太郎』は、言葉の意味がわからない言葉が多く、辞書で調べている生徒が多かった。
- ・感想にも、芥川版には衝撃を受けたという生徒がいた。特に登場人物の描写が大きくことなり、ある意味人間味があふれているという意見もあった。
- ・比較していても同様に、登場人物についての相違点をあげる生徒が多く、桃太郎や鬼の性格や立場の違いをあげている生徒が多かった。
- ・桃太郎と鬼の立ち場の違いについてなど、設定についての意見もあがっていた。

②芥川版桃太郎についてタブレットを用いて調べ、時代背景を知る。 資料3

〈学習活動と内容〉

- ・作者についてと、物語が作られてた時代について調べ、ワークシートにまとめた。

〈生徒の様子〉

- ・調べる内容の指示が明確でなく、何を調べるのか戸惑っていることが多くなってしまった。
- ・芥川版桃太郎について、というよりも、「桃太郎の歴史」を調べるようになってしまった。

③時代背景を知る前と知る後で考えの違いを整理する。 資料6

〈学習活動と内容〉

- ・ 作者や時代背景について調べ、わかった前と後とで文学への感じた方が変化したかまとめた。
- ・ 芥川版『桃太郎』に関しては、旧日本軍の話など、教育で活用するには不安な内容も含まれていた。

〈生徒の様子〉

- ・ 調べる内容の指示が明確でなかったため、理解できなかったことが影響し、考えの変化までたどりつかなかった。
- ・ 芥川『桃太郎』では明治時代という時代背景が影響しており、「人間っぽい」と感じているという意見が出た。
- ・ 結末もおとぎ話『桃太郎』ではハッピーエンドと考え、芥川『桃太郎』ではハッピーエンドではないと感じていた。

〈成果○と課題●〉

○比べ読みをして、文学が描かれた時代によって、内容も大きく違うことを感じさせるきっかけにはなった。

- 「時代背景」について、表現から読み取るよりも、調べてわかったことがほとんどになってしまった。
- 安易な題材設定であった。題材の内容が、中学校国語科で読ませるには適さない部分もあった。
→「これからどんな桃太郎に生まれてほしいか」という発問でまとめを行い、未来に希望が持てるように考えを持った。

第三次

①『オツベルと象』（1年生教科書）、『夏の葬列』（2年生教科書）を読み直し、時代背景が表現された描写を探し、意味を考える。 **資料4** **資料5** **資料6**

〈学習活動と内容〉

- ・ 本文を読ませ、時代背景について考える前の感想をまとめ、交流した。
- ・ 本文を読み返ししながら、「作品に隠れている時代を表すキーワード」を探した。
- ・ キーワードについて、自分の考えをまとめさせた。

〈生徒の様子〉

- ・ 既習の作品だったため、感想は持ちやすかったようだった。
- ・ 『オツベルと象』においては「百姓、稲こき機械、地主と小作人の関係、牛飼い（語り手）」などが時代を表すキーワードとして捉えられていた。
- ・ 『夏の葬列』では、「艦載機、本物のアンコ、疎開児童、小型機、防空壕、終戦」などが時代を表すキーワードとして捉えられていた。

②グループで時代背景が表現された描写について考えを交流する。

教員側からヒントを与え、時代背景について考えを広げた。

資料4 **資料5** **資料6**

〈学習活動と内容〉

- ・個人で考えをまとめさせた考えを、グループで交流させた。
- ・国語用の3～4人のグループを編成し交流を行った。編成人数としても効果的だった。
- ・グループごとに、キーワードをもとに、どんな時代を感じるのか話し合わせた。
- ・「時代背景」については、教科書の文から根拠となる表現を探しながら、考えをまとめた。
- ・教員側からヒントを与え、時代背景について考える材料とした。

例『オツベルと象』は小作人などがいた時代を表した話と言われている

- ・ヒントを元に、時代背景について考えを持ち、考えを交流した。活発に意見交換が行われた。

〈生徒の様子〉

- ・グループで活発に意見を交流し、考えを広げることができた。
- ・今までとは違うキーワードに注目して、議論することができた。
- ・ヒントを元に、意図していた方向とは違う意見がでることも多かった。

(夏の葬列はミステリーとしてはどうなのか、など)

〈成果○と課題●〉

- 本文を何度も読み返し、「作品に隠れている時代を表すキーワード」を探し、自分の考えを持つことで、読みが深まった。
- 感想にも変容がみられ、違う観点で読みを行うことができた。
- 時代が隠れているキーワードは探させたが、探して終わりになってしまった。もっと根拠として、文章や言葉を大事に扱うべきだった。
- 題材の選定にも課題が残った。特に『夏の葬列』は、考えが深まりにくい教材だったように思う。
- 考えるキーワードについての検証が曖昧になってしまった。
- ヒントを与えてしまったがために、その点についての議論になってしまった。そもそも、ヒントを与える必要はなかったように思う。

第四次

①近代文学を使って、時代背景を意識した読みを行い、LibraryNAVIを作成し、伝えたい情報を整理し、作品の魅力を他者への発信する。 資料7 資料8

〈学習活動と内容〉

- ・選書した文学作品を読み、ワークシートで内容をまとめておく。(夏休み中)

選書一覧

芥川龍之介『蜘蛛の糸』

山川方夫『夏の葬列』

魯迅『故郷』

芥川龍之介『鼻』

O.ヘンリー『最後の一葉』

芥川龍之介『羅生門』

森鷗外『高瀬舟』

宮沢賢治『オツベルと象』

太宰治『走れメロス』

太宰治『斜陽』

(2学期)

- ・夏休み中にまとめた内容を元に、LibraryNAVIを作成する。
- ・項目の1つに「この作品から読み取る時代」を入れ、学習してきた「時代背景」を表現させた。
(生徒の様子)
- ・時代背景について、今までの読み取りの練習(オツペルと象など)を参考にしながら作成を進めた。
- ・LibraryNAVIに関しては、昨年度も作成しているため、スムーズに作成することはできた。
(今年度と昨年度の比較検証)

項目(読みの観点)

どんな本か?
おすすめ作品
他の作品

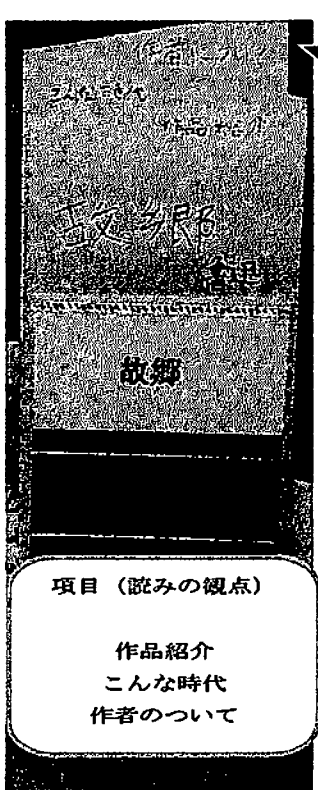


昨年度 作成

自分の感じた魅力だけだった作品が、作品からキーワードを探し、時代について考えるようになった。

項目(読みの観点)

作品紹介
こんな時代
作者について



今年度 作成



- ・「時代」についての項目をつくるように指示して作成を行った。
- ・他のコーナーに関しては個人の自由選択。登場人物、シリーズの紹介、あらすじ紹介などが多く作成されていた。また、昨年度作成する時に全員が入れた「味見読書」（本文からの引用）を入れる生徒もみられた。
- ・時代について、キーワードから自分の考えを表現する生徒が多かった。

〈成果○と課題●〉

- 昨年度作成の LibraryNAVI と比較すると、時代背景を表すキーワードを意識して読むことができ、新しい観点（時代）について考えながら、時代を考えながら文学を読むことができています。
- 昨年度作成し LibraryNAVI よりも、作成を素早く行うことができた。
- 時代背景の表現のモデルが少なかったため、教科書にない作品の時代背景の表現をしっかりと表現することができなかった。
- それぞれに課題とした文章がちがったため、交流しながら深めることが難しかった。

4 全体を通しての成果と課題

（１）成果

- ・今までとは違った、「時代背景」に注目して読むことで、多面的な読み方を行うことができた。
- ・読み取った「時代」を表すキーワードをもとに、LibraryNAVI で感じた時代を表現し、周囲へ発信することができた。
- ・LibraryNAVI についても、昨年度作成したものに比べて変容がみられた。特に、与えられた観点（時代）に関係する言葉を探し、その言葉から自分の考えを持つことができるようになった。

（２）課題

- ・教科書以外の教材の選定は、もっと吟味してから行う必要がある。特に、時代背景といった歴史的な部分に関わる場合は、注意が必要と感じた。
- ・時代背景を感じ取る気づきがあっても、それを全体に広げるような助言を行うことができなかった。
- ・どんな言葉から「時代背景」を感じたのか一人一人の確認が甘くなってしまう、違った時代について考えてしまうこともあった。
- ・LibraryNAVI で時代背景を表現する際に、表現の仕方が明確に示せなかったため、時代についての表現が少なくなってしまった。

※ 参考文献 資料

LibraryNAVI アーカイブ <http://librarynavi.secsaa.net/#>

楠山正雄『桃太郎』青空文庫

芥川龍之介『桃太郎』青空文庫

芥川龍之介『蜘蛛の糸』教育出版 1 学年

山川方夫『夏の葬列』教育出版 2 学年

魯迅『故郷』教育出版 3 学年

芥川龍之介（2000）『鼻』集団読書テキスト，全国学校図書協議会

O.ヘンリー（2000）『最後の一葉』集団読書テキスト，全国学校図書協議会

芥川龍之介『羅生門』青空文庫

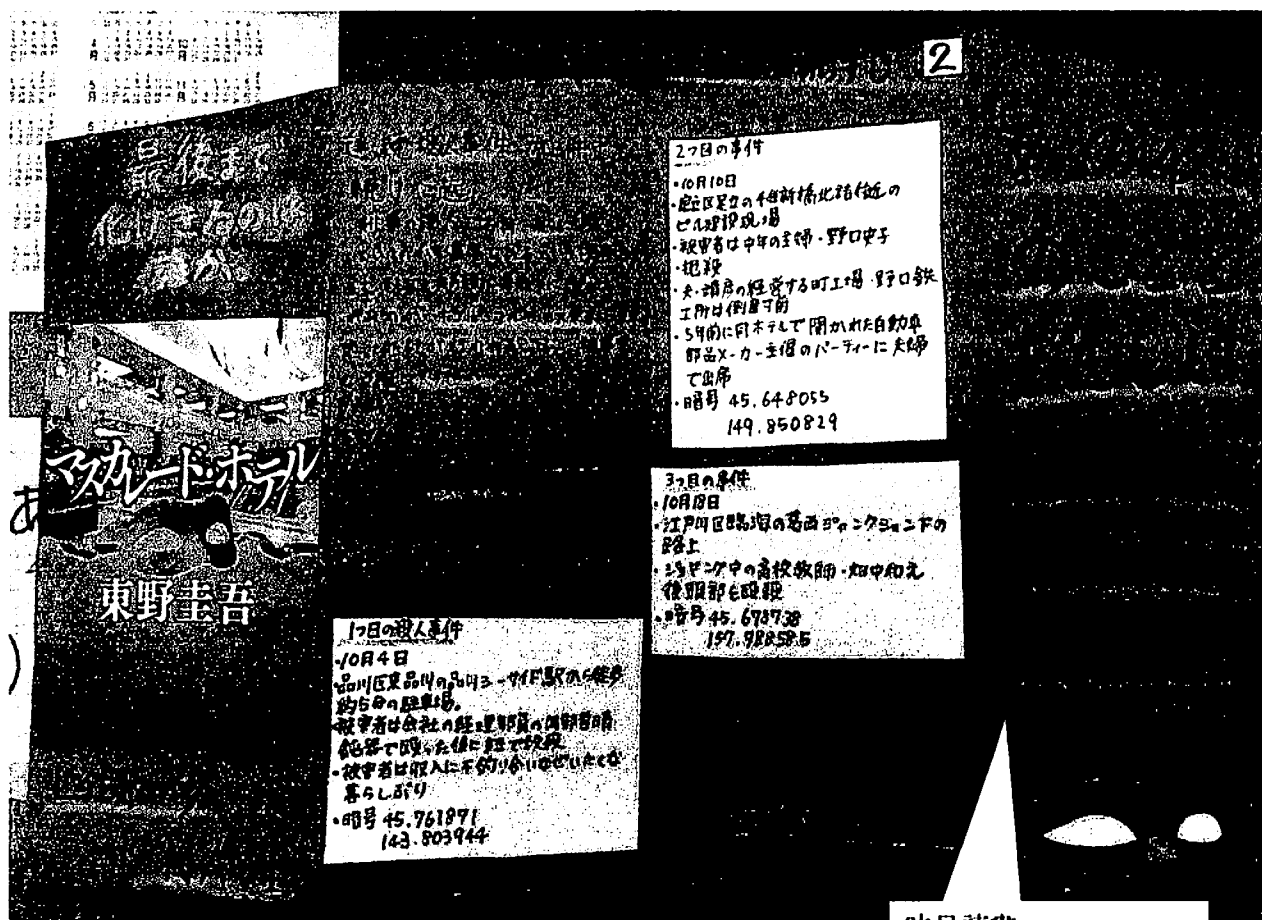
森鷗外（1999）『高瀬舟』集団読書テキスト，全国学校図書協議会

宮沢賢治『オツベルと象』教育出版 1 学年

太宰治『走れメロス』教育出版 2 学年

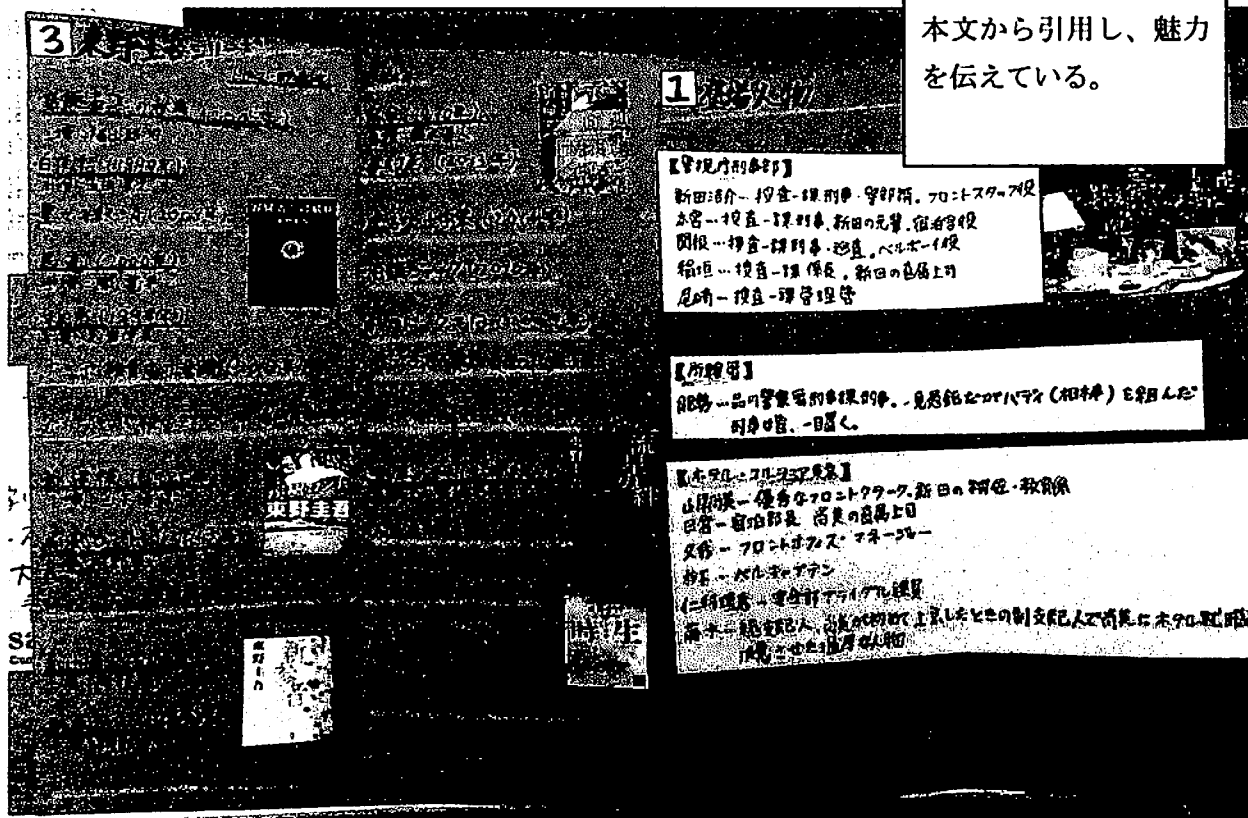
太宰治『斜陽』青空文庫

資料編



味見読書

本文から引用し、魅力を伝えている。



Library NAVI



シリーズ紹介

映山紅

日知錄



幼想映画館

越後が見える、休館の女子高生にミレ。
 ある日、彼女が父の部屋にいるうちに映画館へと
 迷い込む。だが、降りそそぐ雨、と不思議な
 映画館で、ミレはそれから、様々なことに
 巻き込まれていく。

幼想日記店

茶摘みに行く。その土地のまゝある狸子さんに
捕まゐしむ。た大学生の友欲。勝手に茶摘み
した罰として狸子さんの管む日記室で働く
ことになりました。この日記室は、先づたけの
日記のほかに、他人が書いた本堂の日記も
な。といふた。

幼想探偵社

学生の志気とその司校生の二つは、ある
 ギヤクで、「たしかに探偵社」にたとひ著く。
 それは、なほと幽霊専門の探偵社で、超能力者
 は、タペー等の幽霊、大島の花嫁と見ゆる
 ことになした。

あらすじ

[illegible]

●讀者親來●

換上仁時，登天郭便局，無眼。有烟。
 信。在。常。天郭便局。

「それは、さういふと、なつてしまふ」

味見讀書

本文から引用し、魅力を伝えている。

1982年

生きることの意味
をユーモアに教えて
くれるやさし小説

44-38861-1043A

華語了る《母の便所》ハット。親の物に汚る
 赤井《母の便所》局長
 青木《母の便所》局長。のち上言集を併
 志保《母の便所》局長。不男
 豊天《母の便所》局長。五人。但し一作の地主
 土田三郎《母の便所》経営者。アスラの通称
 持太 エリの息子。5歳
 関山《母の便所》の常連。最前かたない
 若下《母の便所》の常連。《地下酒座》店主。妻(同居中)と娘(以
 丸岡 泉警の刑母
 立花今太郎 アスラの中学の国語教師
 楠本タエ 楠本源光アスラの会長。84歳
 楠本義徳子 楠本源光アスラの社長夫人
 楠本七郎 タエの娘。故人
 アスラ 長患いの少年
 島田真理子 他愛
 宇都宮内作 医者。真理子の友人
 田中匠彦 真理子の彼
 狗山北光命 狗山の神

資料2 「桃太郎」 比べ読み

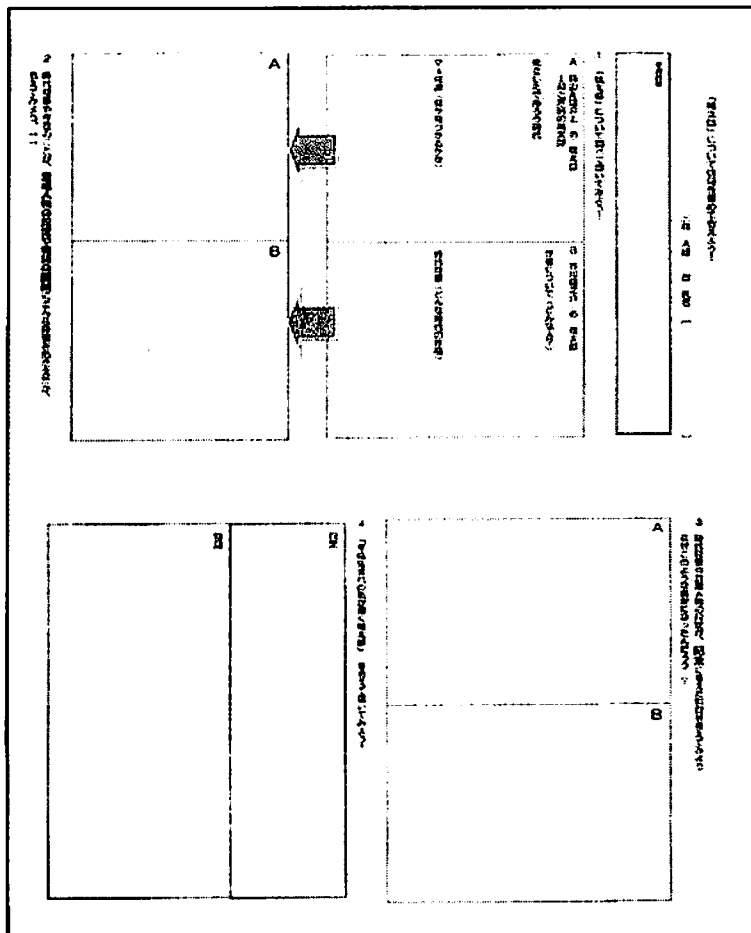
鬼に注目して、比べ読みを行っている。
人物像の違いがわかる

鬼の力 (自分の目 で確認し てみる)	相違点	共通点	結末	語り手 どんな立場 どんな視点	鬼の 人物像 キャラクター	鬼の 人物像 キャラクター	桃太郎の 人物像 キャラクター	場面
王道	登場人物の性格 鬼が鬼らしいところがある	鬼退治 登場人物	HAPPY END	小じり向き	鬼 周りが怖がっている 固がりつて住んでいる 見た目は強いか、本心は 弱い	鬼 人を怖がっている 鬼が島に逃げ込んだ 見ても怖い	好青年 強い	Aの桃太郎
本場の気持が分かって いる間、げい リアル	本場の気持が分かって いる間、げい リアル	鬼退治 登場人物	HAPPY END	大人向き	鬼 人を怖がっている 鬼が島に逃げ込んだ 見ても怖い	鬼 人を怖がっている 鬼が島に逃げ込んだ 見ても怖い	好青年 強い	Bの桃太郎

この物語を観ることに比べてみて、
おとぎ話
芥川版

資料3 「桃太郎」 時代背景調べ

人間が感じるようなマ
イナスの感情も描かれ
ていることから、魅力を
表現している



時代を表すキーワードを探そう

[illegible]

象はオヤルに御せられて、えさもたんだん減らされて、かわいそうだと思つた。

途中にゐてきた重子は、誰何のか娘になつた。

擬音語に使われていて象たちのほくわが伝わってきた。

・月へはなしておもしろかた。

・オッベルほみとい

○新しい焼み方にチャレンジ！

2 作品に隠れている「時代」をあらわすキーワードを探して書いてみよう！

大すぐらいのゴブナ・雑巾ほとあるオムレツ ↓お金持ち

百姓し今はいぢない

三手機持　　したふもてゐるからお金持ち

ピストル↓表に隠している

(7) 第四の要請は、新元は、いよいよは臨ごつた。

昔に使われていた道具で食糧からオイルがどんなにたくさんあったかといふことがわかりました。

時代であり、そのキーワードから、どんなことばかりか調べる。王様でせよ。

時代に注目して、深く文学を讀もう。

○新しい読み方、更にチャレンジ!

1 作中人物として「時代」をあらわす人々を導いていく

思ひなかつたこと、覺えたことを書くとともに、
 1914. 12. 25. 大田南畝より

1896
1933
明治
大正

2 先生から野次郎の「ハートとロマン」を配られた。文壇でいかに文壇でいかに

先生からのコメント……オツベルはこの時代で言うと……小作人？

税金が本当に上がつてゐるなら地主が下等企業

オツベルはつそをついていたかも

オサベルは小作人としては普通だ。たけとんやんやりするし、た。

牛飼官不賢治

(9) 金田ら既述の如く、 U^{235} の核分裂による中性子束は、 U^{235} の核分裂による中性子束の増倍係数 k が 1 より大きいとき、中性子束は増大し、 k が 1 より小さいとき、中性子束は減少する。

最初は、オツベルに對する印象がなだいなだと思つてた。オツベルが、小作人だ、たと考へると、オツベルがしたまは普通、まかなと思つた。それからだんだんエミカレトしていつてしまふのだと思つた。班で交流して考へると、オツベルと象はいろいろ見たり考へたり、方々でまてとてもおもしろいと思つた。

オツベルは悪、ではない読み方ができるようになっている。
多面的な考え方としてとらえられる。

2 作品に隠れている「時代」をあらわす

五、

庭を以て之の好む所を

三

小学校も國語を教へて呼ぶ

本日の夕刻をあたためて、片たしもくた。

道の防室表

才角代

テリドのつた町をテリドの町

上、年々、その素直であり、大人眼で、

国民学校より一九四二年までお勤めされた小笠原さん

○新しい読み方、更にチャレンジ！

時代に注目して、深く文学を讀もう。

Figure 1

1 作品に隠れている「時代」をあらわすヒントを探して交流し

更にわかったこと、書えたことを書いてみようー ドンドン、メモをとろうー

戰中

空襲が激しい

・ヒロ子さんと彼は国民学校に疎開中

一、

「時代」 2 作品に隠れている「

疎開児童
・国民学校
・本当のフニフの？

監製

小型機 防空場 習に総動

戰爭中 (WW II)

1945
8
月
14
日

ヒロ子さんと彼は国民学校に疎開中

社会科、国

文学としてだけでなく、歴史を感じる作品
と考え、社会っぽいとい
う考えがでてくる。

③ 各町の振興と繁栄をたいじようを標榜してゐる。

天の口、單語をヒートに曰付すで、あえられおもしろか、た
社会でWWIIを勉強した後だからで、想像しやすいかと

○新しい読み方、更にチャレンジ！

時代に注目して、深く文学を讀もう。

Figure 1

1 作品に隠れている「時代」をあらわすヒントを探して交流し

更にわかったこと、書えたことを書いてみようー ドンドン、メモをとろうー

戰中

空襲が怖い

・ヒロ子さんと彼は国民学校に疎開中

一、

2 先生が「時と場合」を踏まえておられたこと、文脈したことを書いてみよう。

先生がらのヒント……実は、ミステリー小説

自分が身の周りのことを書いたら、

出張先の整理と自分の思い出を兼ねつてと

3 今日の様子で見たことを、語るだけでなく、きん無いてみよう。

ミステリ：小説と聞いて、自分が身の周りで起きたことをテーマとして、書いてきたと思ひました。

時代について考える前後で、変容したことをまとめ、交流しよう。 1. 今までの知識、ノートを確認して、時代について考える前に、考えや態度、感じ方が変化したか、まとめてみよう。	芥川版 桃太郎 人間のみに くこ (日本型) 前作の木から生まれる。 後これからも性格の悪い桃太郎が増えよう。 その時代のことが書かれていた。 皮肉？	オツベルと 最 時代について考え、小作人・百姓などの時代について知る前に、 前作の象に対していじわる。 後オツベルも必死に働いていた。 普通のことや、	夏の群列 マステリー小説 戦後・小作 戦後・小作 戦後・小作 時代について考え、夏の群列がマステリー小説などについて知る前に、 前作の伝えたいことと分らないか。 後、とくが、た人の真相が分かる所など、マステリー、 よく感じた。 作者の日常	2. 今までの知識を確認して、まとめたことを確認してみよう。 ・考える前後で感じることが変わる。
---	---	---	---	--

1 今までの資料・ノートを整理して、時代について書える冊で後で 考えや感想、感じ方が変化したか、まとめてみよう。	芥川版 桃太郎 人間のみならず (日本書) 戦争もあらわす 時代について知っていて、書えてみる冊と盛で変化したこと 前 王道の桃太郎がこわくなった話 後 作者は大正時代の人だから戦争の様子を表した。 大は以外と桃太郎になっっている 人間とさ↓戦争もはびこっている 嫌な桃太郎(日本)	オツベルと 農家小作人 百姓 オツベルに ついて 時代について書え 小作人・百姓などの時代について知る冊と盛で変化したこと 前 オツベルはなにとん 後 税金を収めるのは大変だった普通の人が オツベルは先を見通して行動して 地まわりのいやつ オツベルは腹がいいかううをうてるかもしん	夏の群列 ミス터리 小説 戦中も日常 感じ 社会っぽい おもしろい 時代について書え 夏の群列がミス터리小説 などについて知っ 変化したこと ・ミス터리作品にしては、先が見える。	2 今日の問題を通して、書えたこと、学んだことを書いてみよう。 時代について書えろと、前と練り書き方が変わったよ、とても深くなったか できました。夏の群列のミス터리作品にしては先が見えるという 意見は、確かにそうなのと思いいおもしろかったです。
---	--	--	---	--

おなじく



象さ を 衣 し つ いた

桃の木から生えている

オツベルへの印象が変わったことが示されている。

○オソベルは悪いやつ
○後 オソベルは普通の事をやっていた

時性

1

Text

作品の依えたい所が
分からなかった。

元祐、仁たの真相が分かる所が
ど城三ノ千リと深く感じた。

2 今日の授業を通して、考えたこと、学んだことを書いてみよう。

一枚の紙にすゝめつけると前と旗下同じた事やほめた事がたゞに
ふたつ、たほも隠れまじした。

時代について考える前作で受審したこととをとり、受審しよう

OK

人同のサニエに注意

・熱帯外多し

登場人物の卜柄

優しくて、勇がトモ排下町の印象が、

比較したことで、印象
が変化している。

象

三
三
た
十

10

今までの如きミスターリーの視點から見たるをとおもしろがった。戦争を題材としたミスターリーは珍しい。戦争の語をミスターリー小説として書いた作者はすくない。

2 今日の授業を通して、誓えたこと、学んだことを書いてみよう

夢見したことをまとめてみると、酷い受刑取り締まりで、とてもおもしろがって下る。

本を読むときの注意点 氏名[]

次のポイントを確認しながら、読んでみよう！！

①あとで「あらすじ」がまとめられるようにしよう！

あらすじメモ

--

②「味見読書」させたい文を探し、線を引き、付箋をはりながら読もう！

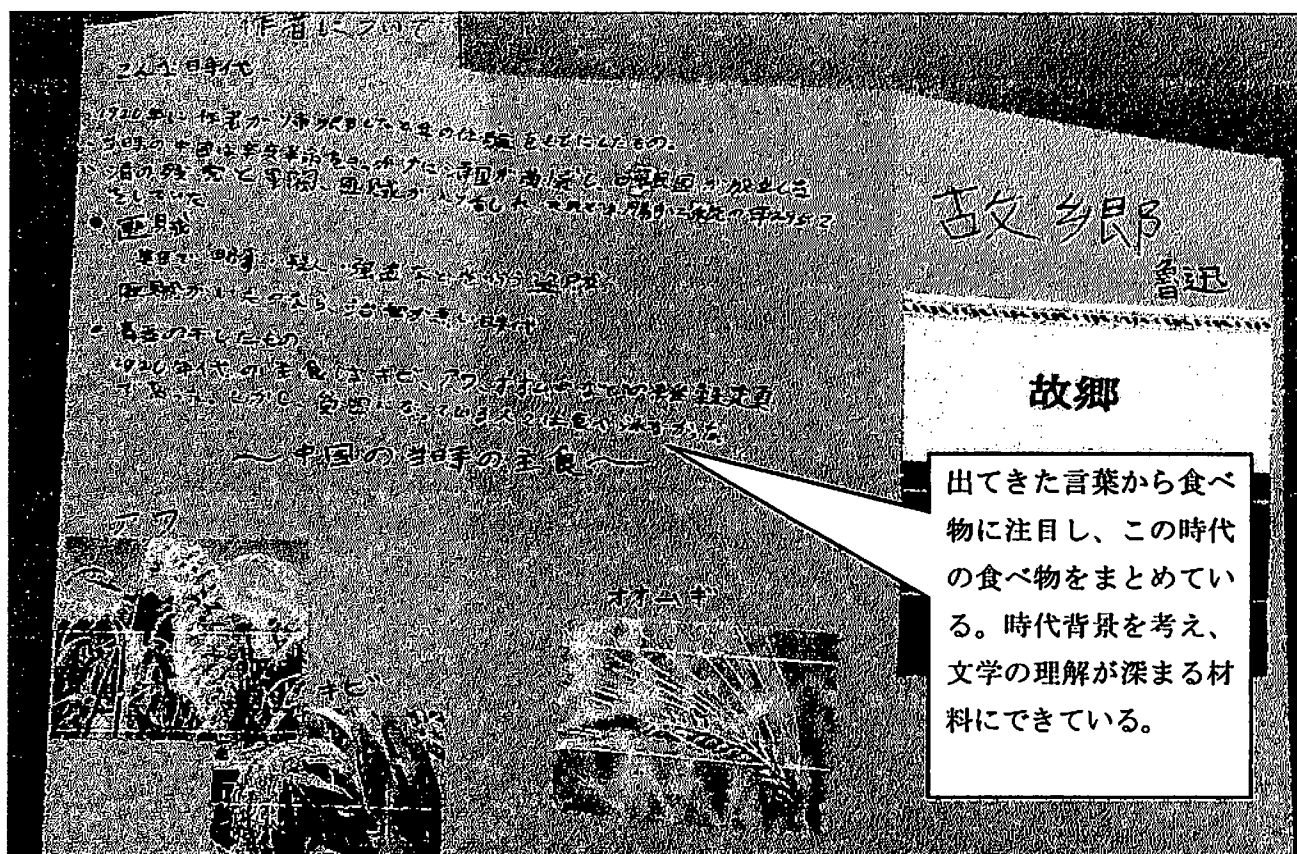
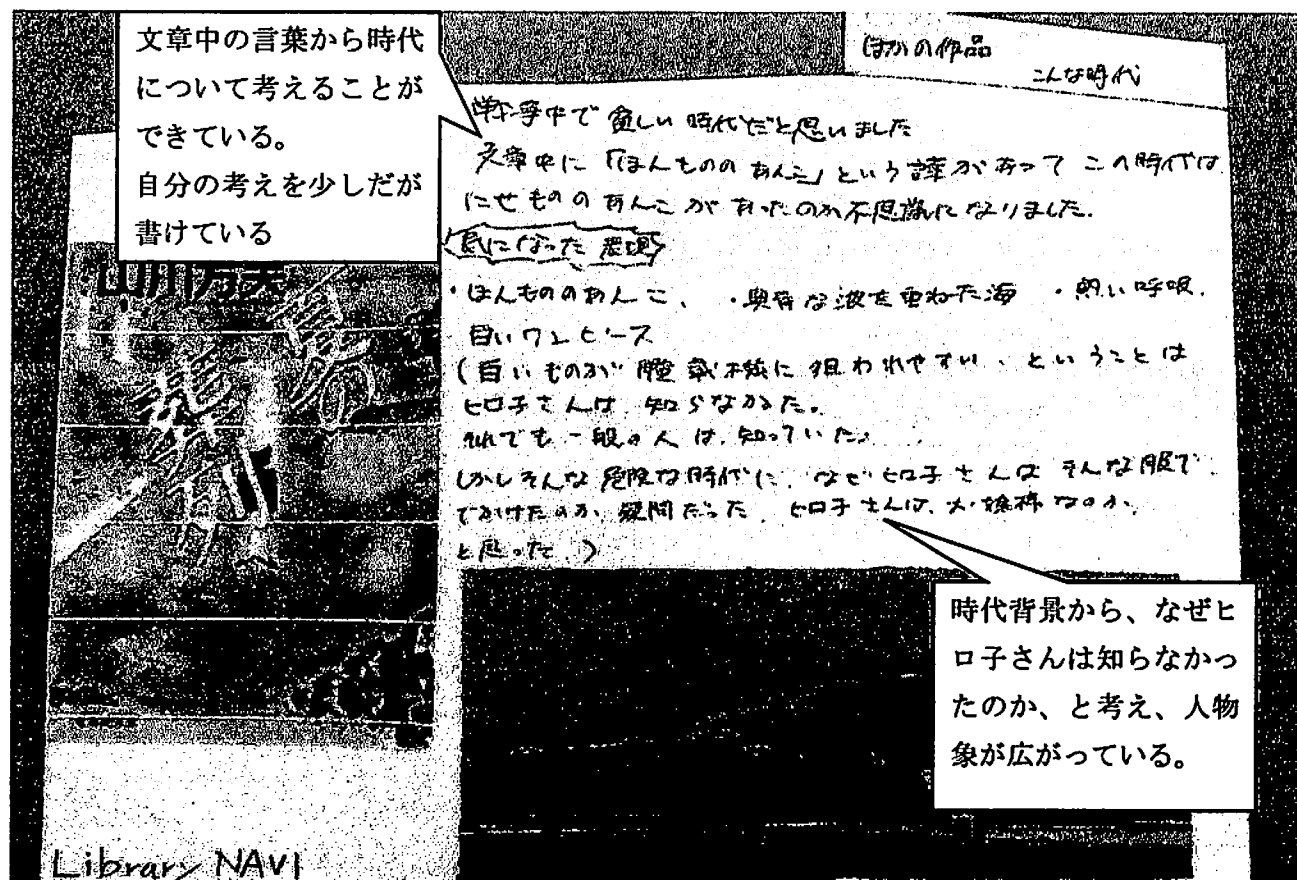
③この作品から感じる「時代」はどんな時代だろう??

こんな時代とわかるキーワードを探し、線を引き、付箋を貼っておこう

この作品から感じる時代とは、どんな時代か、書いてみよう！！

--

お疲れさまでした！
このプリントを9月最初に授業に持ってきてきましょう！！



3

時代はいつまで？

どの時代？

2

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

お金など、時代の状況を考える
ことができていた。

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

「時代はいつまで？」

現代との違いも考えながら、
作品の時代について考えてい
る。